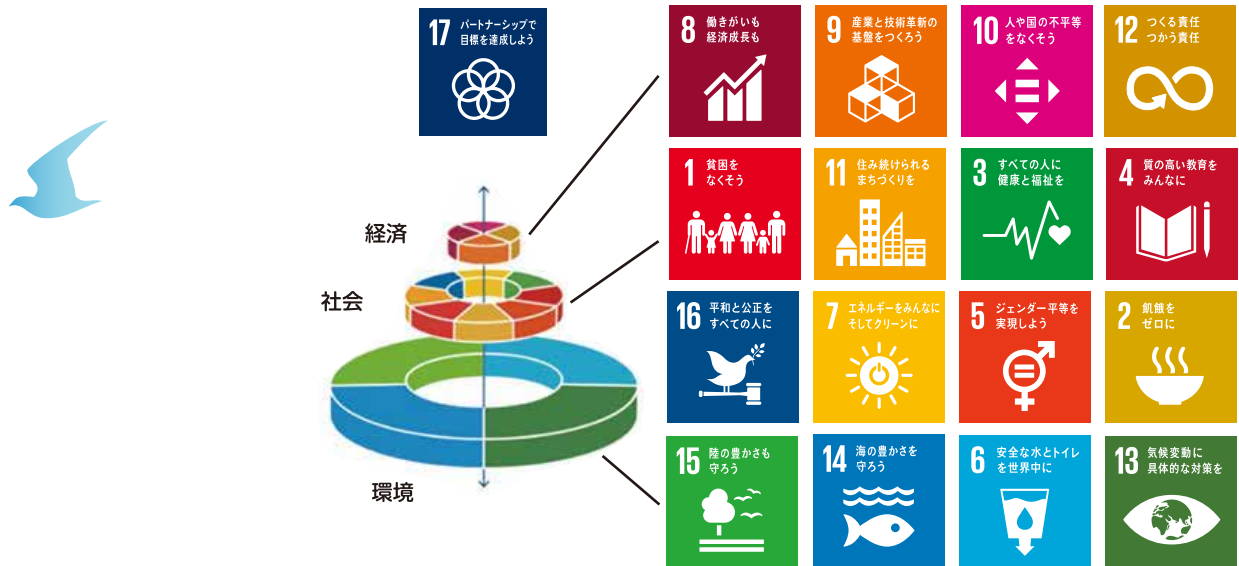


∞ 計画の推進・進行管理

本計画については、大阪府が広域的観点から、大阪市が住民に身近な観点から取組みを推進していくこととしています。また、SDGsの考え方では、経済、社会、環境の三側面において、統合された形で課題を解決していくとしており、環境面から対策を講ずることにより経済・社会の課題解決に貢献する

ことや、経済面・社会面から対策を講ずることにより、環境の課題解決にも貢献することが重要となります。このことから、本計画では目標達成に向けて、経済、社会、環境の三側面の取組みを統合的にマネジメントし、全体の最適化を図っていきます。



出典：2016年のEATフォーラムにてヨハン・ロックストロム博士とパヴァン・スグテフ氏が共同で発表したイラストを元にC1ジャパンが作成(大阪市一部修正)

大阪府・大阪市の環境部局がハブとなって各団体等の取組状況を把握し、関連する団体等の活動につなげていくとともに、国、関係自治体とも連携することにより本計画の推進、目標達成を図ります。また、本計画の進捗については、大阪府・大阪市それぞれの執行体制で管理するとともに、定期的に情報共有と施策等の検討を行うことにより、府市一体となって計画の取組みを推進していきます。

本計画の目標の達成に向け、取組みの成果を計るために設定した指標に基づき、PDCAサイクルの手法により取組みの進捗状況について毎年検証を行い、その結果は目標達成の状況とあわせてホームページ等により公表していきます。

また、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の成果については、自治体SDGsモデル事業の観点から三側面間の取組みごとに得られる相乗効果について指標と目標値を設定し、進捗を管理することとします。



取組みの具体例

- ① 新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの促進(本編p27)
- ② 大阪マラソンクリーンUP作戦(本編p20)
- ③ UNEP-IETCと連携した国際会議等での取組みの発信(本編p29)

